

No.28

メイトルの つばやき



杉原千畝記念館2階の展示室が新しくなりました

みなさんこんにちは！

近頃、八百津町は新緑に覆われ、素晴らしい光景となってきました。そして、ますます暑くなってきて、もう夏のような感じです。

5月中旬に、杉原千畝記念館の2階の展示室が新しくなりました。今回のコラムは、その新しい展示のテーマと内容を紹介したいと思います。

第二次世界大戦時、外交官であった杉原氏は、リトアニアのカウナスで領事代理として勤めていました。1940年の夏に、ユダヤ人たちは、ナチスの迫害から逃れるために、杉原氏のもとへ、ビザ発給を求めて押し寄せたのです。彼は、日本政府の訓令に背き、独自の判断でビザを発給し、多くのユダヤ人を脱出させました。このことにより、約6,000人の命が救われました。

杉原千畝記念館を訪れると、1階では杉原氏の生活や決断、当時の世界はどんな状況であったのかということについて学ぶことができます。それから、決断の部屋では杉原氏の悩みについて考えることができます。自分自身の独断でビザを発行して命を救



うべきか。命令に従うべきか。また、「あなたがこの状況と同じ立場に立ったなら、どんな決断をしますか。」ということについても考えることができます。その後、2階に上がり、杉原ビザ受領者の記録を見ることができます。日本通

その展示は、杉原千畝氏が発給した日本通過ビザ受領者やその家族に捧げられています。そこでは、23枚の証言やビザ受領者の家族からの話が紹介されています。そして、杉原千畝記念館は国際的な教育の場として、機能しています。すべてのビザ受領者の証言とその家族の話は、日本語版、ヘブライ語版、英語版で紹介されています。また、証言と家族の話だけでなく、さまざまな写真や資料も紹介されています。

ユダヤ人避難民は故郷や、家族、愛されるものを根こそぎ奪われました。しかし、杉原氏によって彼らは希望を得られ、杉原氏のように勇気や精神力を持って新しい生活を築きました。彼は人道的な行爲をしたのです。だからこの展示は人間についてのものです。そして、子ども時代の思い出、故郷への懐かしさ、家族への憧れ、日常生活の逸話、日本での滞在中の経験などを紹介します。また、ビザ受領者の命だけでなく、彼らの子どもたちの命や彼らの家族、次の世代の命を救ってくれた杉原氏へのメッセージが紹介されています。



杉原千畝記念館の2階の展示室はプライベートな空間です。その展示室で証言などに触れることがとても適度な空間だ

と思います。そして、展示室の窓から八百津の自然を見ることができ、杉原ビザ受領者の話について深く考えるためのいい空間であると思います。今、あなたは何を感じますか。

ぜひみなさんには杉原千畝記念館の杉原ビザ受領者の特別展示を見て、さまざまなことを感じて頂きたいと思います。記念館スタッフ一同、みなさんをお待ちしております！

メイトルさんへの質問は
meital@town.yaotsu.lg.jp までどうぞ！